



2012年が穏やかな陽の中、始まりました。毎年、今年こそはと気持ちを新たにしますが、すぐに挫折、仕切り直してまた挫折。そんなことの繰り返しです。「まちがってもいいんだよ。」・・・いくつかの教室で見たことがあります。仕切り直し、仕切り直しの繰り返し、生きていくことなのかもしれません。そう考えると、失敗の繰り返しも、決して悲観することなく、生きている証です。失敗から何を学ぶかですね。子どものテストも同じです。点数にばかりこだわるのではなく、間違いがしっかり直せているか、自分のものに消化しているかが大事だと思います。家族が子どもを観る視点を少しだけでも変えてみたら、子どもの意欲も倍増すると思います。

光陰矢のごとし 数えれば40日ほどしかありません

「席書き」に始まって、スケート・スキー教室、6年生を送る会に卒業式・修了式。そのほかに、豆まきあり、ヴァレンタインあり、1年間の勉強のまとめあり・・・と、短い期間にぎゅうっと凝縮されているのが3学期です。このほかに、インフルエンザの攻撃、花粉症に悩まされる子ありと、お楽しみと難題が交互にやってきます。その度に、お母さんのヴォルテージは上がったたり下がったり。いらいらで爆発寸前でも、子どもにだけは発砲しませんように。笑顔で接してください。家族の笑顔が、特にお母さんの笑顔が、子ども達にとってどんなにか安らぎを与えることでしょう。

子育て指南塾 第1回



以前、子育ての事で「お便りを下さい」と何回かお願いをしてきました。皆さん素晴らしい経験を持っているのに、出し惜しみ状態です。今回は、センターの職員「子育て談」を紹介したいと思います。

<その1>とにかく遊びましたよ。夜は布団を並べて、その上で、ごろごろいもむしやでんぐり返し。お休みの日はお弁当（コンビニ弁ではなく）を持って、パインズパークや地域探検。草むらに入り込んで木いちごも一緒に食べたなあ。自転車に乗って、一緒にいろいろなところに行ったよ。子どもが3歳の時、一緒に三つ峠に行った。3歳の子どもが行きも帰りも歩いたのにはびっくりしたよ。とにかく、自然の中で、いっぱい一緒に時間を過ごしたよ。お金ではなく愛情をかけたと思う。

<その2>我が家では、居間が子どもの学習の場でした。子どもの部屋はもっぱら寝るだけ。子どもが勉強している時は、こちらは主に読書。もちろんテレビを見るなど論外。辛抱強く子どもの勉強しているそばにいました。今でも、私のがんばったことのひとつです。残念なことに、下の子どもの時は、かなり気が緩んでしまいました。

